

# 芯

校長室通信 No. 2 2024/05/24

文責：柿沼 透

「芯」・・・トウシングサの随の部分。(三省堂『新明解国語辞典』より抄)

トウシングサは和ろうそくの原料です。学校目標「しんの強い子ども」。花火のように華美ではないけれど、子どもたちの心の奥にある本気のともしび。その芯に火を灯す教育をみんなで進めていきましょう。

## 完成したのは、何でしょう？

1年2組の金坂先生による、初任者への示範授業「図工：チョッキンパツでかざろう」。

かわいい一年生が、一生懸命に紙の折り方や切り方を工夫して、  
いろいろな形や模様ができることに気付く、素敵な授業でした。



明確な指示、ハサミの安全な使い方、十分な活動時間の保障。

思い思いに表現を楽しむ子どもたちの姿が、とても微笑ましかったです。

## さらに、このあとの姿に、大変驚かされました！！

何をしているか、お分かりでしょうか。



そうです、机上的ごみを集めている姿です。  
しかも、誰かに言われたからではなく、  
子どもたちが、自ら進んで集めていました。



気がつけば、一人二人でなく、  
ほかの子どもたちも・・・  
周囲の教室の床まで・・・



道徳は、道徳科を要として、学校の教育活動全体を通じて行うもの、各教科等との関連を明確にしなが  
ら意図的に行うもの、とされています。金坂先生の図工  
では、「作品」が完成しただけでなく、「豊かな心」  
(ここでは「節度・節制」)も完成されていました。

この床、この心の美しさを、みんなで育みましょう！